

3 学期終業式式辞

R5.3.20

早いもので、今日で今年度が終了します。

今年度も、コロナ禍の1年間でしたが、感染症対策を行いながら、様々な場面で皆さんは活躍を見せてくれました。

さて、皆さんはデルフィニウム（さくら姫）をご存じですか？農業高校で学んでいる皆さんであれば、恐らく多くの方が知っていると思います。デルフィニウムは一般的にブルーが出まわっていますが、愛媛ではピンク色に品種改良されています。これには、純系淘汰、選抜・固定化の繰り返し等、高度な技術と根気強さが必要です。なんと、12年間もの年月をかけて開発されたようです。桜と見間違ふような切り花で、一枝あたりの花数も多く、花にボリューム感があります。また、花木の桜は1年のなかで一瞬しか楽しめませんが、この「さくら姫」は秋から冬に花が咲き、春にもう一度花が咲いて二度楽しむこともできます。また、最近では、「さくら姫」から分離培養した清酒用花酵母、「愛媛さくらひめ酵母」が開発され、日本酒が醸造されています。愛媛さくらひめシリーズ 22 銘柄が一斉発売されています。

この、さくらひめは、愛媛県農林水産研究所が育成した花で、平成 27 年 2 月 18 日に品種登録されました。開発者は、県内在住者で「廣瀬由紀夫」様という方です。以前、開発者である廣瀬さんとお話しをする機会がありました。高校時代は、勉強と同時にいつも心に留めていたことは、好奇心と探究心を持ち続けることだったそうです。私は、その気持ちの持ち方こそが、愛媛を代表するこのような愛らしい花を作り出す礎になっていると感じました。高校生の皆さんに伝えたいことは、「何事にも興味・関心を持ち、諦めることなくチャレンジを続けてほしい」と熱く語られました。

探究心は、私たちの日頃の生活において重要な役割を果たします。探究心を持たなければ、もし問題が起きたときにもその問題に対し、積極的に解決しようとする姿勢を見せることはできません。「なぜ？」という探究心を持ち、どのような物事に対しても、自分から意欲的に取り組む姿勢が大切です。そして、疑問に向き合い、深め広げる意欲を持ち続けて下さい。

皆さんは、「農業と環境」をはじめ、「課題研究」や「総合実習」の時間でプロジェクト活動に取り組みます。様々な課題を掘り起こし、つねに次の課題解決に向けた、新たな挑戦の繰り返しで進められていきます。皆さん自身が、新しいことや難しいことに果敢にチャレンジする主体性をしっかりと身に付けていただくことを切に望みます。また、今年度の1年生から、3年間もほとんどの農業科目でプロジェクトを取り入れた学びを行うことになりました。多くのステージで、多くの課題発見と課題解決に向けて楽しんでください。

いよいよ4月からは、新しい学年になります。一人一人が、目標に向かって諦めることなく、チャレンジ精神で臨んでください。それでは、4月にスムーズなスタートが切れるよう、この春休みを有意義に過ごしていただくことを願います。し式辞とします。